国語

TYPE L

3 二

「自分の考えを主張する文章を書こう」

～目的や意図に応じて，自分の考えを支える理由や事例を明確にして詳しく書く～

目的や意図に応じて，自分の考えが伝わるように書くことに課題が見られました。そこで，本授業アイディア例では，文章全体の構成を検討したり，自分の考えたことが客観的な事実に裏付けられたものになっているかを考えたりしながら，自分の考えを明確にして書くことの指導事例を紹介します。なお，本授業アイディア例は，第５学年以上を対象としています。

授業アイディア例

Ａさんの学級では，みんなが気持ちよく学校生活を送ることができるように，学級の友達に向けて主張する文章を書いています。Ａさんは，説得力のある文章にするために構成や書き方の工夫を考えています。

構成を考える　自分の考えを主張する文章の構成例を基に，構成を見直す

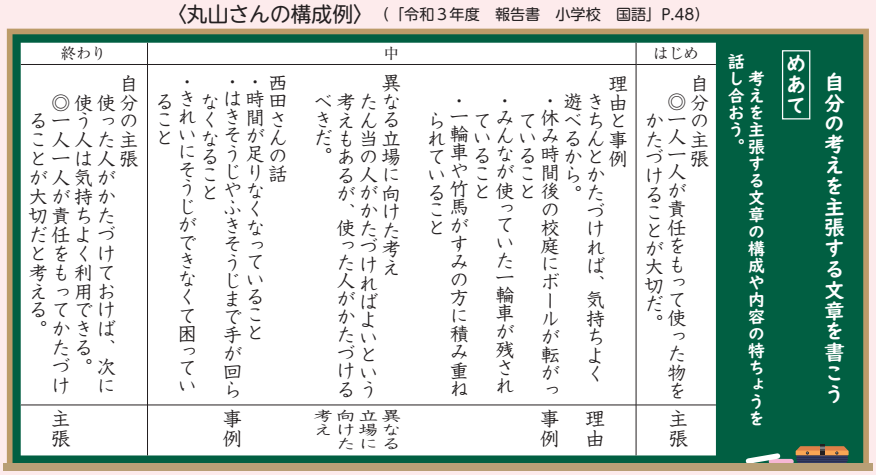
Ａさん

集めた材料を整理して，構成を考えてみたんだけど，私の主張が伝わるようになっているかな。

〈Ａさんの考えた構成〉

	はじめ	中	終わり
	・他の学年の人と遊ぶと仲良くなれる。 ・友達が増える。	・いろいろな遊びができる。 ・一年生は六年生からさまざまな遊びを教えてもらう。 ・六年生は，同学年だと照れてできない遊びができる。	・他の学年の人と遊ぶとよい。
	理由１ 事例	理由２ 事例	主張

〈丸山さんの構成例〉（「令和３年度　報告書　小学校　国語」P.48）



教師

Ａさんの構成を，令和３年度調査問題の〈丸山さんの構成例〉と比べて考えてみましょう。

Ａさんの構成は，主張が「終わり」にしかないけど，〈丸山さんの構成例〉では，「はじめ」にも主張が書いてあります。だから，主張が強調されてはっきりと伝わると思います。

さまざまな構成の工夫があるけど，今回は，主張を強調したいから，〈丸山さんの構成例〉のように「はじめ」と「終わり」に主張を入れてみます。

※ここでは，他学年と遊ぶことのよさを主張する例を取り上げましたが，同学年と遊ぶことのよさを主張する文章を書くことも考えられます。

記述する①　下書きをして，簡単に書く部分や詳しく書く部分を検討する

〈Ａさんが考えた文章の下書き〉

わたしは、みんなが気持ちよく学校生活を送るために、他の学年の人とも遊ぶことが大切だと思います。

みなさんは、相手のことをよく知らなくても、遊んでいるうちに仲良くなれたという経験はありませんか。他の学年の人と遊ぶことで、ふだん関わることの少ない人とも仲良くなり、友達を増やすことができると思います。

また、いろいろな遊びができるようになります。一年生は、入学した当時、六年生といっしょに遊んでいました。一年生は六年生からさまざまな遊びを教えてもらい、遊びの種類が増えたそうです。また、六年生にインタビューをすると、「同学年だと照れてしまう遊びも、一年生とは楽しく遊ぶことができた。」と話していました。

一方、他の学年の人とも遊ぶより同学年の人と遊びたいという人もいるでしょう。しかし、わたしは、他の学年の人とも遊ぶ方がよいと思います。

このように他の学年の人とも遊ぶことで、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができるようになると思います。だからこそ、わたしは他の学年の人とも遊ぶことが大切だと思います。

【はじめ】主張
【中】理由１と事例
理由２と事例
【終わり】異なる立場に向けた考え
主張

一つめの「理由と事例」（**青色の囲み**）は，みんな経験があることだから簡単に書いたままにしておこう。二つめの「理由と事例」（**緑色の囲み**）は，詳しく書くことができたな。「異なる立場に向けた考え」（**赤色の囲み**）はどうかな？Ｂさんに聞いてみよう。

この理由と事例で納得できる？

Ｂさん

同学年の人と遊んでも友達を増やすことができるし，遊びの種類も増えると思うな。

Ｂさんにも納得してもらうためには，「異なる立場に向けた考え」（**赤色の囲み**）の部分は，詳しく書いた方がいいな。いろいろな学年の友達とよく遊んでいるＣさんに聞いてみよう。

自分の考えがよく伝わるようにするために，書く目的や意図を確かめて，文章のどこを詳しく，どこを簡単に書けば効果的かを，児童が自分で判断できるようにすることが大切です。構成を考える過程において，簡単に書いたり詳しく書いたりする部分をあらかじめ検討しておくことも考えられます。

課題の見られた問題の概要と結果

3 自分の考えを主張する文章を書く

3二 正答率 56.7%

丸山さんの【文章の下書き】の ····· 部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す

学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕
思考力，判断力，表現力等
B　書くこと　イ，ウ

記述する②　説得力のある文章になるように，理由や事例を考えて詳しく書く

Cさん

私は，同学年の子だけで遊ぶよりいろいろな学年の友達と遊ぶ方が好きだな。一緒に遊んでいると，年上の友達の行動を見習うことができるし，年下の友達にはどのように接したらよいかを考えるようになったよ。

そうなんだね。いろいろな学年の友達と遊ぶと，どんなよいことがあるかが具体的に分かったよ。

これは，同学年との遊びにはないよさだな。Cさんの話を基に考えられる他の学年の人とも遊ぶよさは「自分と違う立場の人との関わり方が学べること」だ。これを**理由**に説得しよう。Cさんの話を**事例**として取り上げて詳しく書いてみよう。

〈Aさんのワークシートの記入例〉

自分の考えを主張する文章を書こう　月　日（　）

めあて　説得力のある文章になるようにくわしく書こう

★考えを支える理由や事例を加えて書く

〈書き直したい部分〉
しかし、わたしは、他の学年の人とも遊ぶ方がよいと思います。

〈くわしくする〉

【考え】
しかし、わたしは、他の学年の人とも遊ぶ方がよいと思います。

【理由】
なぜなら
自分とは違う立場の人との関わり方を学ぶことができる
からです。

【事例】
Cさんに聞いたところ
いろいろな学年の友達と遊ぶと、年上の子の行動を見習うことができ、年下の子のことを考えた行動ができるようになる
そうです。

〈書き直した文章〉（考え・理由・事例を組み合わせる）
しかし、わたしは、他の学年の人とも遊ぶ方がよいと思います。なぜなら、自分と違う立場の人との関わり方を学ぶことができるからです。Cさんに聞いたところ、いろいろな学年の友達と遊ぶと、年上の子の行動を見習うことができ、年下の子のことを考えた行動ができるようになるそうです。

★確かめよう

【理由】
□ 考えを支えるものになっているか
□ 理由と分かる表現が入っているか
・なぜなら～からです。
・その理由は～　など

【事例】
□ 事実を書いているか
□ 人から聞いたことや、自分の体験と分かる表現が入っているか
・例えば～
・事例を挙げると～
・○○さんに聞いたところ～
・～ということでした。
・～と書いてありました。
・～そうです。
など

【全体】
□ 事実と感想・意見とを区別して書いているか

異なる立場に反論する理由と事例を加えて，詳しく書いてみたよ。Cさんの話をもとにして理由をまとめてみたけど，理由と事例は考えに合っているかな。

「自分と違う立場の人との関わり方を学ぶことができる」というのは，なるほどと思ったよ。理由と事例が，Aさんの考えとつながっているね。「なぜなら～からです」という言葉があるから，理由を書いていることもはっきり分かるね。Aさんは，説得力のある文章を書くために，どんなことに気を付けて書いたの。

考えと事実を区別して書くことに気を付けたよ。詳しく書くときは，自分の考えに説得力をもたせるために，できるだけ具体的な事実を書いた方がよいことが分かったよ。Cさんの話を基にして詳しく書くことで，他の学年の人と遊ぶことのよさがより明確になって，自分の考えがさらに深まったよ。

ここでは，第３学年及び第４学年〔思考力，判断力，表現力等〕の「B書くこと」のウの指導事項も踏まえたワークシートの例を示しています。必要に応じて，理由・事例を示す表現や文末表現の書き表し方について，児童自身が確認できるようにすることが効果的です。

ポイント

自分の考えが妥当な理由に支えられているか，事例が客観的な事実に裏付けられているかを確認することが大切です。その際，友達と互いに確認し合うことで，自分の考えがより深まるようにすることが効果的です。

ポイント

本授業アイディア例　活用のポイント！

- 本授業アイディア例では，Ａさんの書く活動に焦点を当て，自分の考えを形成していく過程を示しています。児童自身が書くことの学習過程を自覚し，自らの学習を調整しながら主体的に学習に取り組むことができるようにすることが大切です。
- 児童が自分の文章の構成や書き表し方を工夫するために，**〈丸山さんの構成例〉**（「令和３年度　報告書　小学校　国語」P.48）や**〈Aさんが考えた文章の下書き〉**を教材として活用することが考えられます。

参照「令和3年度　報告書　小学校　国語」P.42～P.53，「令和3年度　解説資料　小学校　国語」P.30～P.40